

2026 年度 事業計画

**公益社団法人 日本広告制作協会（OAC）
運営方針**

新たな OAC へ、舵を切ります。

加盟する各社・個人、全ての人が参加しやすい場の創出へ。

昨年 2025 年は、●社会に貢献する OAC、デザインの価値を高める OAC へ●デザインの価値を高め、その価値を発揮する人材を育成するを掲げ、各事業に取り組んでまいりました。それと並行し、2024 年に 50 周年を迎えた当協会の今後を鑑み、どうあるべきかを考え続けた一年となりました。

【新たな OAC 創出のための経緯・考え方】

【我々を取り巻くビジネス環境の変化に対応し、加盟企業の経営基盤強化の一助となるために】

- **コロナ禍も収束してきた 2022 年、2023 年と 28 社の退会。**
背景には、コロナ禍以降の事業環境の変化やデジタル化の進展があり、各社が今後の方向性を見直す中での判断であったと考えられます。
- **今後も AI の台頭等、我々を取り巻く環境はますます変化していく。**
こうした状況においては、各社が個別に対応するだけでなく、課題や情報を共有しながら変化に対応していくことが重要です。その上で「健全な経営」を遂行し、クリエイターのパフォーマンスを発揮させる環境を整えることが、今後ますます必要になってくると思います。

会員企業が変化に対応しながら「健全な経営」を継続できるよう、支え合う場としての役割を担い、参加する各社が自社に還元できる内容を強化する。

【クリエイターが組織の枠を超えて、クリエイティブの意識・技術・考え方の成長を促すために】

- **OAC に参加する経営者同様に、クリエイター同士が学び合い、刺激を受ける「場」の拡充へ。**
これまで、経営者同士の交流や情報交換の機会はありませんでしたが、クリエイター同士が組織の枠を超えて学び合い、刺激を受ける機会は十分とは言えませんでした。今後は、より実務に結びつく知見の共有や同業種同士の交流など、クリエイターが成長できる場を広げていく必要があります。
- **これからのプロフェッショナルとしてのクリエイターの在り方を考え続け、より相談される存在に。**
AI 時代においては、単なる作業にとどまらず、課題の本質を捉え、様々なことに寄り添え、提案できるクリエイターの存在がより重要になります。

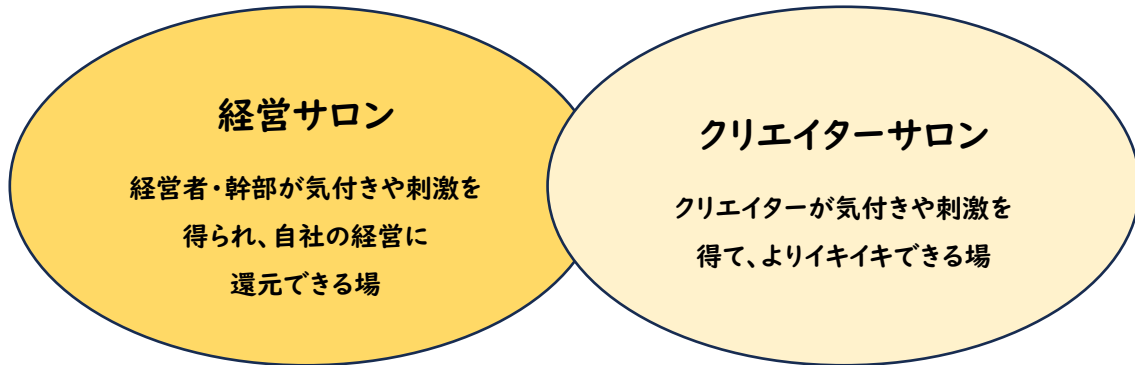
クリエイターが成長できる「場」づくりを進め、実務への還元はもとより、クリエイターとしての存在意義を高める内容を強化する。

この両軸を機能させていくことで、またこれからのクリエイティブ業界を盛り上げていくために、**一部のメンバーに依存するのではなく、次代を担う中堅や若手の方の参加も必要です。**

会員企業の経営の安定と、クリエイターの成長、そしてクリエイティブを通じた社会への貢献、これらの積み重ねが、OAC の持続的な発展・基盤強化につながると考えています。

【2026 年度の体制】

2026 年度は、従来の委員会中心の活動から、サロンを起点とした運営体制へと移行します。
サロンではテーマを起点に人が集まり、交流や議論を行い、そこからプロジェクトが生まれる形を目指します。
また、テーマごとに関心のあるメンバーが参加できる、柔軟で開かれた仕組みとします。



■ サロン運営の考え方

サロンおよびプロジェクトの実施にあたっては、以下の観点を重視します。

- 集うことで成長できる場であること。参加したい、行ってみたいと思える内容であること
- 各社の経営課題の解決につながり、経営者や経営幹部が学び、共有できる場であること。
I 社では難しい課題に対しても、共同で向き合える内容であること。
- クリエイティブの力を高めるものであること。顧客や社会の課題を解決する力としてのクリエイティブを磨くこと。クリエイターの質の向上につながる内容であること。

■ 経営サロン

経営者・幹部が集い、課題や事例を共有しながら、自社の経営に活かせる気づきを得る場とします。
また、次世代の経営を担う人材の参加も促し、新たな視点や交流を生み出していきます。

■ クリエイターサロン

クリエイターが実務に直結する知見を学び、刺激を受け、成長できる場、また「機械的にやらされる仕事」から脱却し、自らが様々な課題の本質を探る社会的視点を兼ね備えた人材になってほしいと思います。
その実現に向けて、関心テーマごとや同業種・同年代の交流など、多様なつながりを生み出すことを目指します。
また、この業界を目指す学生をも巻き込み、次世代との接点づくりも進めていきます。
こちら、若い方はもちろんですが、現場を任されている中堅層の方の参加を期待しています。

両サロンとも、テーマに応じて自由に参加できる仕組みとし、
会員同士のつながりを強化するとともに、
更なる知見の獲得のために外部とのネットワークも広げていきます。

【各事業内容について】

健全で変化に柔軟に対応できる経営と、次世代の人材育成を目指して！

— 社会に貢献できる組織・人材の育成のための研修事業等（公益事業） —

1. 経営セミナー・勉強会の実施

（経営サロン）

より柔軟に変化に対応できる会社経営、相談される制作会社となるべく今後の制作会社のあり方を探り、各社の経営課題の解決に繋がる実利あるものにしてまいります。

現在の経営者はもとより若手の経営幹部への参加を促し、より良い経営をデザインするセミナーや勉強会の場を設け、また経営層同士が相談し合える関係性の構築のための交流会も計画します。

なお、先にもあげましたが中堅・若手の経営幹部をどう巻き込んでいくか、今後に繋げていくかが重要と考えており、皆さまのご協力をお願いいたします。

2. クリエイターのためのセミナー・勉強会の実施

（クリエイターサロン）

従来あまり出来ていなかった、クリエイター同士の学びに繋がる機会を増やします。

今期は、初めてのこともあり同業種同士や同年代同士など、集まりやすい環境を整え、そこに何かしらの「テーマ」を設定します。まずは集うことで、学びや刺激になることを目指し、そこから「次はこんなテーマで集まろう」と自主的に運営してもらえるようになることを期待します。

また、クリエイティブ力向上につながり、今後のプロフェッショナルを考えるセミナーも計画したいと思います。なお、従来行ってきて今期も行うものは下記に記します。

➤ 若手クリエイターを中心とした「CREATOR FEST」の開催

「CREATOR FEST」は、多忙な日常から少し離れ、会社の中だけでは得られない知識や新たな発見の場です。こちらも「テーマ」に基づき、意見を述べ合いお互いが刺激を受け合う場です。

またその後の交流会でも初対面とは思えない繋がりが期待でき、今後に繋がると思えます。

「集い、話すことによって生まれる価値」を体験する機会を創出します。

➤ クリエイターの今後のプロフェッショナルのあり方を考える

誰もがデザインや映像をつくる時代。そんな時代のプロフェッショナルとは何だろう。

デザインの価値を高めていくためにも、創るクリエイターや制作会社が一般の方々とは異なり、真の意味でのプロフェッショナルであるべきと考えます。それには何が必要なのか。

デザイナー編、コピーライター編に続き、プロデューサーやカメラマン等、職種に分けた開催を計画し、その内容を開示・共有することで今後の人材育成等の指針となるよう努めます。

➤ 中堅・若手クリエイターを中心としたアウトプットのためのスキルアップセミナー開催

Illustrator・Photoshop の最新機能・作業効率アップ、AI の活用等、最新技術を学ぶ場を設けます。基本的にスキルを中心とした講座内容となりますが、目的は作業効率を図り、表現以前の本質を探り、検討・企画発想する時間に多くを費やす方向になることを念頭に置いています。

クリエイティブ・デザインのチカラで、日本を元気に。クリエイター自身を元気に！
— デザインの価値を高め、社会に発信するクリボラ事業（公益事業） —
（クリエイターサロン）

2026 年度は、従来のクリボラ事業とは別に新たな事業立案に向けても動き出します。

軸となる考え方は2つ。

- クリエイティブなコミュニケーション力を生かした社会貢献活動であるかどうか。
- OAC とクリエイターのプレゼンスを向上させるかどうか。

【事業テーマと手法に関して】

- 同時代的で、社会性のあるテーマ設定をすること（メディアや世間の関心を集めるもの）
- クリエイターが面白がって取り組めるテーマ設定、そして手法であること
- トrendに追随することなく、意外性や新奇性があり、他が気付かないテーマでありたい
- 個人や個社では難しく、クリエイターの会社が集まった OAC なら出来る事業であること

なお、協会運営の実情に照らし合わせ

- ・ OAC の人的リソースでやり遂げられる内容と規模を考える
- ・ 身の丈にあった予算設定。協賛金やクラウドファンディングの可能性も追求
- ・ 中堅・若手クリエイターを巻き込むことを念頭に

こちらへのご協力もお願いいたします。

なお、従来行ってきた今期も行うものは下記に記します。

1. 石川県輪島市 仮設住宅に暮らす方々に「心とむカレンダー」を！

能登半島地震・豪雨被害で被災された方への支援活動。

昨年初めて実施した事業ですが、今年度も継続して支援いたします。今年度は、次代を担う地元輪島市の小学生とコラボし、彼らが輪島の良さを見直す機会にも繋げ、且つ仮設住宅に暮らす方々に元気を届ける主体として活動してもらえよう働きかけていく予定です。具体的には、各月で設定したテーマに基づきキャッチコピーを考えてもらい、それを OAC のクリエイターがデザインしカレンダーに仕上げます。昨年のカレンダーも好評のようで、仮設住宅の日々の暮らしに花を咲かせているようです。今回はコピーライターの方に現地に行つて授業を行ってもらう予定です。クラウドファンディングも実施予定です。ご協力お願いいたします。

2. 三陸鉄道ならびに沿岸市町村支援カレンダー制作

（三陸鉄道イーハトーブカレンダー2027）

今回も、宮沢賢治の物語に登場するフレーズをテーマに広く公募し、制作していきます。

またカレンダーの完成時に走行するギャラリー列車では、三陸鉄道社員の方が撮った写真の展示を計画。

三陸鉄道への乗車促進を軸に考え、宮沢賢治ファンにプラスし、撮り鉄の方等、電車ファンの方にアピールしていく予定です。また当協会としての収益性も考慮して進行してまいります。

3. 「一行タクシー」(東京ハイヤー・タクシー協会とのコラボレーション)

2026 年もタクシーの車体にタクシーへの共感を醸成する一行のコピーをラッピングし、東京の街を走る「一行タクシー」の企画が決定しました。全国から公募するコピーの数も昨年は 2 万 1 千を超え、この企画も定着してきたようです。

4. 第 15 回 OAC 学生広告クリエイティブアワード 2026

学生を対象にした本アワードは、課題解決力の向上を目的に、実際の企業様より課題をいただき実施してまいりました。課題の本質を探り、それをどう表現するか。残念ながら課題の意味合いを捉えきれず、見た目のレイアウトに注力する部分が多いのが実態ですが、本アワードを通じ、学生時代より課題解決の思考を学び、その上で表現に向ってもらいたいと思います。また昨年より課題提供企業に協賛金のお願いをしており、収益性の向上にも努めてまいります。

5. 未来を拓くニッポン・アイデアコンテスト

「アイデアで社会をより良くするコンテスト」として過去 12 回実施してきた内容を見直し、昨年「未来を拓くニッポン・アイデアコンテスト」として実施。「自ら課題を考え、自らその解決策を考える」というコンセプトはそのままに、

1. 課題を取り上げた視点・課題の分析・企画アイデア発想力・解決策

2. 上記の解決策をより多くの方に、伝え巻き込む「伝えるチカラ」

この両面で学生の皆さんにチャレンジしていただきました。

一次選考を経て、最終選考時にはプレゼンテーションも行っていただく機会としました。

昨年リニューアル後の初開催でしたが、高校生がグランプリを獲得するなど、若いチカラの可能性が確認できました。今年度も更に充実した内容となるように努めてまいります。

その他、支援活動等(公益事業)

1. 学生(学校)支援活動

クリエイティブ業界を目指す学生への一助として、業界や仕事内容を知ってもらうために、学校内では得られ難いこと等、学校関係者の皆さんと共に考え、支援していこうと思います。セミナーやワークショップ等、考えられると思っています。また、「学校と制作会社の情報交換会」や横の繋がりが薄いと言われる「専門学校同士の情報交換会」など、検討し実施してまいります。

2. 講師派遣・学生広告団体(東広連)支援

専門学校の学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会への参加。ならびに講師派遣依頼への対応を行います。また、東京学生広告研究団体連盟(東広連)活動の支援(ワークショップやセミナーの開催)ならびに同団体の学生広告展の審査協力を行ってまいります。

3. 広告関係団体との情報交換

広告関係団体との情報交換を行い、共に「デザイン・クリエイティブの価値」を高めていけるよう、想いを同じくする団体とのネットワーク化を推し進めます。また、情報交換で得た有益な情報やセミナー開催に関してはその共有に努めます。

4. 広報 PR 活動

広報・PR 活動では、会員社にとって有益な情報を発信し OAC に加盟していることの意義を理解してもらう側面と、広く社会に OAC の活動を認知してもらう側面があります。常にこの両面を睨みながらも、本年度もクリエイティブ・デザインの価値を高め、社会をデザインしていく OAC の魅力を各事業を通して発信し、広く一般の方々の様々な知の獲得、並びに志を同じくする会員増強の一助となるべく努めてまいります。また協会内で行う各種アンケート中、一般に向けても有益な情報は公表します。※経済産業省の行う、3 ヶ月ごとの業況調査への協力も継続して行っています。

会員企業相互の発展のために

1. CREATOR2027 誌の監修 (収益事業)

毎年 12 月に宣伝会議社より発行している CREATOR 誌の監修。自社ブランディングを捉え直す機会として、そして自社をアピールする機会として会員各社にとっては貴重な場となっています。また学生にとっては制作会社を知るために、そしてクライアントサイドはパートナー探しのための情報源として活用されています。今年度は CREATOR2027 として発行を予定し、内容のより一層の充実を図ります。(収益事業としては、OAC サイトバナー広告 | 社も予定)

2. E&O 保険の継続 (相互扶助事業)

E&O とは Errors「過失」、Omissions「怠慢」の略語で、職務の遂行上の過失や怠慢によって顧客等の第三者に経済的な損害を与えた事に起因し、法律上の賠償責任を負う事によって生じた損害を補償します。OAC 独自の本保険は、主にデータ入力ミスや著作権に関して活用され、現在 13 社の会員社が加入。新たに加入を検討される方は事務局までお問い合わせください。

3. コンテンツ東京 2026 への出展 (相互扶助事業)

当協会が後援もしているコンテンツ東京。2026 年は 6 月 17 日(水)~19 日(金)東京ビッグサイト西展示棟で開催されます。会員社も多数参加予定ですが、当協会もブースをお借りし、当協会の PR はもとより出展している会員社ブースへの誘導や、出展されていない会員社の紹介なども合わせて行っています。今回も、制作会社のパートナーをお探しの方には真摯に対応し、且つ当協会を知らない制作会社の方には、デザインの価値を共に高め、制作会社同士の横の繋がりが力になっていることなど、伝えていければと思います。

4. OAC 雑談ミーティング (ビジネス交流会) (相互扶助事業)

新会員社のビジネス紹介を含め、協会内でのビジネスや経営上の相談が出来る関係値構築を目指し、開催を計画します。

OAC 加盟各社の、経営層・クリエイターの実務に結び付く内容を今まで以上に構築し、その魅力をもって、新たな会社にも自信をもって入会を勧められるようにしていきたい。

以上、継続事業はさておきですが、新たな「経営サロン」・「クリエイターサロン」活動は、これから始まっていきます。参加したくなるテーマ設定など、当初は従来のメンバーが中心となるでしょうが、各事業を創ってきたそのメンバーも高齢化が進んでおり永遠ではありません。次代に繋いでいくためにも、今後は中堅・若手の皆さんの参加を主に考えていきます。

2026 年度は、次世代の皆さんが、楽しみながら様々なテーマに参加し、学び、横の繋がりを生み、今後の会社経営と、クリエイティブ力の向上に結び付けていける「場」にすること、それを認知してもらう年にいたします。

プロジェクトのテーマが決まり集う際には、全ての会員の皆さまにその情報をお伝えします。

そのテーマに合わせ、興味のあるものにご参加いただきます。

そこでの交流を深め、新たな世代が自ら考えた新たなプロジェクトが、いずれ生まれてくることを願っています。

これが、2026 年度、そしてこれからの願いです。

この両サロンの運営ですが、言ってみるとサロンの中にプロジェクトを生み出すアメーバがたくさんある状況です。各々が、これをやりたい、栄養に繋がるよと、うごめいているのが理想です。体内の細胞が、活発に活動し、健全で健康な OAC を創り上げていく状態を目指しています。

この両サロン、端緒についたばかりです。これを動かすメンバーも初めてのことばかり。当初は、混乱もあるかもしれませんが。しかし「集う」機会を生み出し、そこに参加する方々が次に集まる機会が増えていくことで、新たな OAC を軌道に乗せていきましょう。

皆さんで、両サロンをそして新たな OAC を築きあげていきましょう。ご協力お願いいたします。

以上、2026年度事業計画といたします。

（単位：円）

科目	2026年度 予算	2025年度 予算	増減	2026年度公益目的事業		2026年度収益等事業			法人会計
				公 1	（合計）	収 1	共益	（合計）	
I 一般正味財産増減の部									
Ⅰ. 経常増減の部									
（Ⅰ）経常収益									
受取会費等	20,200,000	21,110,000	△ 910,000	14,140,000	14,140,000	0	1,010,000	1,010,000	5,050,000
正会員受取会費	12,360,000	13,080,000	△ 720,000	8,652,000	8,652,000		618,000	618,000	3,090,000
賛助会員受取会費	6,180,000	6,060,000	120,000	4,326,000	4,326,000		309,000	309,000	1,545,000
個人会員受取会費	360,000	120,000	240,000	252,000	252,000		18,000	18,000	90,000
新正会員受取入会金	400,000	450,000	△ 50,000	280,000	280,000		20,000	20,000	100,000
新正会員受取会費	480,000	600,000	△ 120,000	336,000	336,000		24,000	24,000	120,000
新賛助会員受取会費	420,000	480,000	△ 60,000	294,000	294,000		21,000	21,000	105,000
新個人会員受取入会金		80,000	△ 80,000						
新個人会員受取会費		240,000	△ 240,000						
事業収益合計	6,160,000	5,890,000	270,000	2,403,000	2,403,000	3,421,000	336,000	3,757,000	0
広告料収益合計	3,421,000	3,421,000	0	0	0	3,421,000	0	3,421,000	0
CREATOR2027 会員社頁掲載料	2,750,000	2,640,000	110,000		0	2,750,000		2,750,000	
CREATOR2027 広告掲載料	550,000	660,000	△ 110,000		0	550,000		550,000	
CREATOR2027 CREATOR’S Index	55,000	55,000	0			55,000		55,000	
OACサイトバナー広告	66,000	66,000	0		0	66,000		66,000	
受講料収益	360,000	1,243,000	△ 883,000	360,000	360,000			0	0
経営サロン セミナー受講料（3回）	180,000	627,000	△ 447,000	180,000	180,000				
プロフェッショナルセミナー受講料	90,000	418,000	△ 328,000	90,000	90,000				
CREATOR FEST（1回）	90,000	198,000	△ 108,000	90,000	90,000				
参加料収益	228,000	487,000	△ 259,000	132,000	132,000	0	96,000	96,000	
ビジネス交流会（経営サロン）	96,000	487,000	△ 391,000				96,000	96,000	
クリエイターサロン勉強会（4回）	80,000		80,000	80,000	80,000				
職種ごと勉強会	32,000		32,000	32,000	32,000				
専門学校・大学・制作会社情報交換	20,000		20,000	20,000	20,000				
協賛金収益	440,000	0	440,000	440,000	440,000				
学生広告クリエイティブアワード	440,000		440,000	440,000	440,000				
寄附金収益	665,000	0	665,000	665,000	665,000				
輪島支援カレンダー（前年度残金）	165,000		165,000	165,000	165,000				
輪島支援カレンダー（今年度目標）	500,000		500,000	500,000	500,000				
雑収益	1,046,000	739,000	307,000	806,000	806,000	0	240,000	240,000	0
三陸鉄道カレンダー＆ギャラリー列車	276,000	49,000	227,000	276,000	276,000				
タクシー協会 協賛金	530,000	450,000	80,000	530,000	530,000				
OAC総合賠償責任保険 事務手数料	240,000	240,000	0		0		240,000	240,000	0
【経常収益計】	26,360,000	27,000,000	△ 640,000	16,543,000	16,543,000	3,421,000	1,346,000	4,767,000	5,050,000
(2) 経常費用									
<事業費>									
人件費	12,756,410	12,444,910	311,500	12,160,100	12,160,100	176,280	420,030	596,310	0
役員報酬	4,275,000	4,275,000	0	4,050,000	4,050,000		225,000	225,000	
給料手当	4,478,160	4,478,160	0	4,287,600	4,287,600	95,280	95,280	190,560	
法定福利費	799,000	799,000	0	765,000	765,000	17,000	17,000	34,000	
人材派遣費	2,848,000	2,536,500	311,500	2,720,000	2,720,000	64,000	64,000	128,000	
役員退職金積立	356,250	356,250	0	337,500	337,500	0	18,750	18,750	
事務所関係費	4,147,400	4,117,140	30,260	3,961,000	3,961,000	93,200	93,200	186,400	0
家賃	3,933,800	3,773,600	160,200	3,757,000	3,757,000	88,400	88,400	176,800	
水道光熱費	213,600	210,040	3,560	204,000	204,000	4,800	4,800	9,600	
家賃更新費（2026年1月）	0	133,500	△ 133,500	0	0	0	0	0	
諸費	6,287,000	7,315,300	△ 1,028,300	3,731,600	3,731,600	2,369,450	185,950	2,555,400	0
通勤交通費	470,000	465,300	4,700	450,000	450,000	10,000	10,000	20,000	
旅費交通費（輪島支援他）	375,000	560,000	△ 185,000	375,000	375,000			0	
会議費（セミナーケータリング8回等）	366,000	588,000	△ 222,000	316,000	316,000		50,000	50,000	
会場費（ビジネス交流会・展示会等）	0	490,000	△ 490,000	0	0		0	0	
通信運搬費	130,160	217,000	△ 86,840	130,160	130,160			0	
事務消耗品費	208,042	156,000	52,042	208,042	208,042			0	
広告宣伝費	66,000	66,000	0	66,000	66,000			0	
渉外費（慶弔等） 管理費項目に移行	0	0	0		0			0	
印刷費	732,298	653,000	79,298	677,298	677,298		55,000	55,000	
支払手数料（ZOOM）	47,000	47,000	0	47,000	47,000			0	
リース料	610,000	315,000	295,000	610,000	610,000			0	
諸謝金（2つのアワード副賞）	270,000	420,000	△ 150,000	270,000	270,000			0	
諸謝金（セミナー講師料）	165,000	450,000	△ 285,000	165,000	165,000			0	
諸会費	60,000	60,000	0		0		60,000	60,000	
委託費	2,348,500	2,348,000	500		0	2,348,500		2,348,500	
修繕費	146,000	164,000	△ 18,000	124,100	124,100	10,950	10,950	21,900	
サイト運営費	243,000	266,000	△ 23,000	243,000	243,000			0	
雑費（東広連協賛）	50,000	50,000	0	50,000	50,000			0	
事業費計	23,190,810	23,877,350	△ 686,540	19,852,700	19,852,700	2,638,930	699,180	3,338,110	0

科目	2026年度 予算	2025年度 予算	増減	2026年度公益目的事業		2026年度収益等事業			法人会計
				公 Ⅰ	(合計)	収 Ⅰ	共益	(合計)	
<管理費>									
人件費	932,590	894,090	38,500	0	0	0	0	0	932,590
役員報酬	225,000	225,000	0		0			0	225,000
給料手当	285,840	285,840	0		0			0	285,840
法定福利費	51,000	51,000	0		0			0	51,000
人材派遣費	352,000	313,500	38,500		0			0	352,000
役員退職金積立	18,750	18,750	0		0			0	18,750
事務所関係費	512,600	508,860	3,740	0	0	0	0	0	512,600
家賃	486,200	466,400	19,800		0			0	486,200
水道光熱費	26,400	25,960	440		0			0	26,400
家賃更新費（2026年1月）	0	16,500	△ 16,500		0			0	0
諸費	1,724,000	1,719,700	4,300	0	0	0	0	0	1,724,000
通勤交通費	30,000	29,700	300		0			0	30,000
旅費交通費	0	20,000	△ 20,000		0			0	0
図書費	73,000	73,000	0		0			0	73,000
通信運搬費	149,000	122,500	26,500		0			0	149,000
事務消耗品費	118,000	123,500	△ 5,500		0			0	118,000
渉外費	28,000	30,000	△ 2,000		0			0	28,000
支払手数料	206,000	218,000	△ 12,000		0			0	206,000
支払報酬	874,000	874,000	0		0			0	874,000
リース料	14,000	13,600	400		0			0	14,000
公租公課（消費税含む）	158,000	136,000	22,000		0			0	158,000
修繕費	74,000	79,400	△ 5,400		0			0	74,000
管理費計	3,169,190	3,122,650	46,540	0	0	0	0	0	3,169,190
【経常費用計】	26,360,000	27,000,000	△ 640,000	19,852,700	19,852,700	2,638,930	699,180	3,338,110	3,169,190
【評価損益等調整前当期経常増減額】	0	0	0	△ 3,309,700	△ 3,309,700	782,070	646,820	1,428,890	1,880,810
基本財産評価損益等									
基本財産評価損益等									
特定資産評価損益等									
特定資産評価損益等									
投資有価証券評価損益等									
有価証券評価損益等									
【評価損益等計】									
【当期経常増減額】	0	0	0	△ 3,309,700	△ 3,309,700	782,070	646,820	1,428,890	1,880,810
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
【経常外収益計】	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
【経常外費用計】	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【当期経常外増減額】	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【当期一般正味財産増減額】	0	0	0	△ 3,309,700	△ 3,309,700	782,070	646,820	1,428,890	1,880,810
【一般正味財産期首残高】	15,200,000	17,332,860	△ 2,132,860						
【一般正味財産期末残高】	15,200,000	15,200,000	0	△ 3,309,700	△ 3,309,700	782,070	646,820	1,428,890	1,880,810
Ⅱ 指定正味財産増減の部									
【当期指定正味財産増減額】	0	0	0						
【指定正味財産期首残高】	0	0	0						
【指定正味財産期末残高】	0	0	0						
Ⅲ 正味財産期末残高	15,200,000	15,200,000	0						

○ 公益目的事業比率： 75.3％（公益目的事業の費用計/経常費用計）
○ 収益等事業比率： 12.7％（収益目的事業の費用計/経常費用計）
○ 法人会計比率： 12.0％（法人会計の費用計/経常費用計）

【注釈】	能登半支援カレンダーでは、READY FORなどで寄附を募る予定です。 未来を拓くニッポン・アイデアコンテストではスポンサーなど（学生広告も同様）を当たっていきます。 その他、2026年度は収益性の改善を目指します。
------	--